

「翔べ調布」市制施行50周年記念 市民の集い

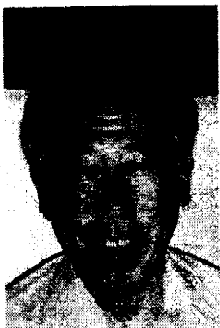
市制施行50周年を記念して、「市民の集い」を開催し、基調講演とワークショップとによって、調布の街を考えてみようと思いました。休日の午後を楽しんでいただきたいと思います。

今回は、調布とその周辺に住んでいた人を江戸時代まで遡って振り返り、調布という土地柄を見つめなおして、調布人の姿をイメージしながら、私たちが、これからのまちづくりにどのように関わって行けるのか、皆さんと話し合いたいと思います。多くの方の参加をお待ちしております。

- 13:30~13:40 挨拶
- 13:40~14:20 基調講演「歴史からみる調布…そして未来へ」
- 14:20~14:30 休憩
- 14:30~16:10 ワークショップ「すき・きらい調布大研究」
- 16:10~16:20 休憩
- 16:20~17:10 発表
- 17:10~17:50 全体討議
- 18:00~20:00 懇親交流会



基調講演・郷土研究家 古橋研一氏 13:40~14:20



1955年(昭和30)に調布市が誕生して、今年で50周年を迎えました。この調布に人々が住み着いてから、現代に至るまでには長い歴史の道があります。今回は、残された記録から、調布人が時代の流れの中で、何を考えていたのかを、時間を遡り、市民の視点で検証したいと思います。そこから、明日の調布を考えるヒントが見えてくるかも知れません。

古橋研一(ふるはし けんいち)氏

1947年(昭和22)生まれ、調布市に住んで33年。「僕の調布にも空襲があった」(1986年)「調布にも引揚者寮と戦災者寮があった」(2000年)「調布の蔵」(2001年)「青南国民学校の神代村疎開」(2004年)「資料から見た学童疎開」(2004年)などの著書多数。

ワークショップ「すき・きらい調布大研究」:自由発言 14:30~17:50

- ・参加される方の関心分野から、ひと(文化、教育など)、くらし(福祉、環境など)、まち(産業、道路など)、その他(左記に属さないもの)にて、グループわけをして意見の交換を行ないます。
- ・約8グループ(各グループ6人程度)にわかれて話し合います。
- ・各グループは、KJ法を参考にして調布の好きなこと、嫌いなことをまとめていただきます。
- ・まとめていただいた好き嫌いに対して、どのように関わっていきたいか、をまとめていただきます。
- ・各グループから話し合いの結果を発表していただきます。
- ・最後にみんなで全体討議を行ないます。

軽い飲物を飲みながらの懇親交流会 18:00~20:00

- ・基調講演で聞きそびれたこと、ワークショップで言い忘れたことなど皆さんで笑談パーティ。
- ・参加希望者で会費は個人負担(1,000円程度の予定)

= ワークショップの申し込み方法 =

調布市・市民参加推進室生涯学習交流推進係へ電話でお願いします

☎0424-41-6112

締切は11月18日(金)

先着50名様・当日の申し込みもあります。参加費無料

